

パーミクロン900KH-GF

日塗化学株式会社

1. 一般名 エポキシ樹脂系塗料
2. 規格 消防危第209号
3. 特長
1) チクソ性が高く、1mm以上厚さに塗布してもダレない。
2) 無溶剤型の為、安全性に優れている。
3) コテ塗り、ヘラ塗りでの作業性に優れている。
4) 耐水性、耐油性、耐薬品性等長期的な耐食性に優れている。
5) 覆装材の施工がありませんので工期の短縮が図れます。
4. 用途 危険物地下埋設タンク、鋼管外面など。

5. 性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	40kgセット(主剤:20kg、硬化剤:20kg)			
季節型	夏型・冬型			
色相	グレー			
密度(23°C)	1.55±0.1 g/cm ³			
粘度(23°C)	20000mPa・s±10000			
加熱残分	100%			
硬化時間	温度	10°C(冬)	23°C(夏)	30°C(夏)
	夏	—	9時間	6時間
	冬	16時間	4時間	—
	冬	16時間	4時間	—

上記性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工基準

項目	内容			
下地処理	サンディング又はブラスト処理			
混合割合(重量比)	主剤:1、硬化剤:1			
可使時間		10°C	23°C	30°C
	夏	—	30分	20分
	冬	30分	20分	—
洗浄シンナー	B0シンナーE			
施工法	施工方法	コテ、ヘラ、スプレー(注2)		
	希釈率	—		
		標準使用量		
	下塗り	2.0 kg/m ²		
	中塗り	2.0 kg/m ²		
	上塗り	1.0 kg/m ²		
施工間隔	温度	10°C(冬)	23°C(夏)	30°C(夏)
	最小	16時間	9時間	6時間
	最大	7日	7日	7日

注1) 高粘度対応型 エアレススプレーを使用。使用量は×1.5になります。

注2) 標準使用量は、従来の実績値に基づき算出。

6. 施工上の注意

- 水分、油分やサビ・埃などの付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきること。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨してから施工すること。